

申14号 2019年度年末手当に関する申し入れ その① 第2回目交渉にて満額回答を強く要請する！！

組合

- 単体・連結共に第2四半期決算としては増収増益で過去最高となった。これに対する評価、現場で汗して働き、安全・安定輸送、会社施策にもしっかりと対応し急速な環境の変化にも対応してきた組合員の評価は。
- 賞与そのものは業績に応じた社員への還元が主たる目的であるということ、公正な成果配分として支給していくべきものであることは一致できるのか。
- 当初計画で増収減益を見込んだ理由は何か。
- 台風15号の影響はどの程度見込んでいるのか。
- 増要素をして当初会社が見通したものと実績を見た場合、どのように捉えているのか。
- 人件費の現状と今後の推移はどうなっていくのか。
- 人件費の要素は年末手当の議論をする上では別だ。
- 景気動向指数において、8月分の3か月、7か月の後方移動を見ても着実に拡張局面になっていくと見えるがどう捉えているのか。
- 社員数や平均年齢の低下により平均基準内賃金が下がり、平均支給額も下がっている。それにより会社の持出し額も年々下がっている状況だ。

会社

- ◆各職場において社員が一丸となって安全・安定輸送の確保、災害対応、収益の向上に取り組んだ成果であると考えている。改めて感謝を申し上げたい。
- ◆短期の業績を踏まえて判断をしていくことは一定程度認識の一致はしているが、完全に直近の経営成績のみを持って判断していない。収入・費用の状況、今後の動向を含めて総合的に判断していくことが必要。
- ◆大きな要素としては次世代新幹線 ALFA-X の試験費 70億円の計上が上期に予定されていたものが下期にずれ込んだ。仮に上期に来た場合、増益にならない可能性もあった。
- ◆上期における台風災害の規模は昨年より少なかった。対前年で見ると多く見える。
- ◆営業収益では計画より実績が26億円多く、予想よりも多かった。増える見込みのところは更に増えたということでは計画との違いがあるということ。
- ◆2023年が減少のピークで、それ以降は上昇傾向に転じる見込み。個別の社員で見れば6期連続の賃金改善などさまざま取り組んでいる。
- ◆標準的な水準をどんどん上げていくと、なかなか下げる方向には行きづらい性質があるので、そういった部分から考慮していく必要がある。ベアの議論と比較すると要素としては強くはない。
- ◆景気ウォッチャー調査の先行きでは、やや力強さを欠いていると捉えている。先行きはかなり慎重に見極め、動向に留意していく必要がある。
- ◆変革2027の施策などで投資していくことも必要。同じ月数でベースアップもしていけば確実に支給額は増えていく。それも加味していかなければならない。

申14号 2019年度年末手当に関する申し入れ その② **第2回目交渉にて満額回答を強く要請する！！**

組合

■要求している3.6か月は、人件費の通期予想△69億円以内におさまる額だ。支払い能力は十分にある。

■「すでに高い水準にある」「突出感のないように」と言われるが、すでに突出していることはなく、高い水準にあるとも思っていない。

■厚労省の勤労統計調査では実質賃金が非常に下がっていると出されている。そういうところも加味して社員還元をすべき。

■現場は変革2027の実現に向けて努力している。今回の増収増益は現場の努力の結果である。そのことを反映した社員還元をすること。

■設備職場として4月に電気部門の変革2022が実施され、会社はスムーズに移行できたとしているが、社員一人ひとりが日々発生する問題に向き合ってきた結果である。その努力に応えるために満額回答をすべき。

■今回の台風被害は直接は下期だが、駅で働いているなかで上期のプラス分を食い潰している状況を肌で感じている。被害の復旧、変革2027の実現、オリパラに向けてどうやってモチベーションを維持していくか、士気の高揚を図るためにも社員への還元は必要不可欠。還元ができる条件が整っている増収増益だからこそ組合員、社員に返して要求に応えるべき。

■本業の力を示す営業利益は増益になっている。現場は第1・第2四半期決算の状況は認識しており、そのなかで会社がどう判断するのか注目している。今回の状況を踏まえしっかり判断してもらいたい。今の状況からすれば出すべき時。組合員からすればこれだけ稼いでも「慎重に」では、いつ出してくれるのかという思いがある。3.6か月の満額回答を要求する。

会社

◆将来に向けた投資をしていくことで成長の余力や財務体制の強化など、持続的で安定的な社員への支給に繋がる。

◆鉄道は仕事を取りにいかないという業態とは少し違うという面での突出感。持続的に対応していくなかでどの水準がいいのか判断していく。

◆下がっている要因としては非正規雇用の増大や定年後再雇用などでの賃金水準が下がるという背景もある。当社の水準を上げるというところでは議論が違う。

◆すべての施策がスムーズに移行できるとは思っていない。試行錯誤しながら日々汗をかいていただいた現場社員の努力の結果である。引き続きご理解ご協力をいただきながら進めていきたい。

◆今現在も台風の影響に対して日々尽力いただいております。オリンピックに向けても自らできることを取り組んでもらっている。そういったモチベーションを踏まえ、持続的な発展、安定的な賃金・手当ということをいかに共有していくかを踏まえながらの判断なので、いただいている主張を受け止めながら判断をしていく。

◆組合の要求、主張についてすべてを否定するものではない。主張・趣旨は承った。要求についても認識をしている。本日の議論を踏まえ然るべきタイミングで検討し回答していく。

**組合員の努力に応える
満額回答をするべきだ！**

支払能力は十分にある！要求満額を勝ち取ろう！